

# 情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント

## － 概要と背景 －

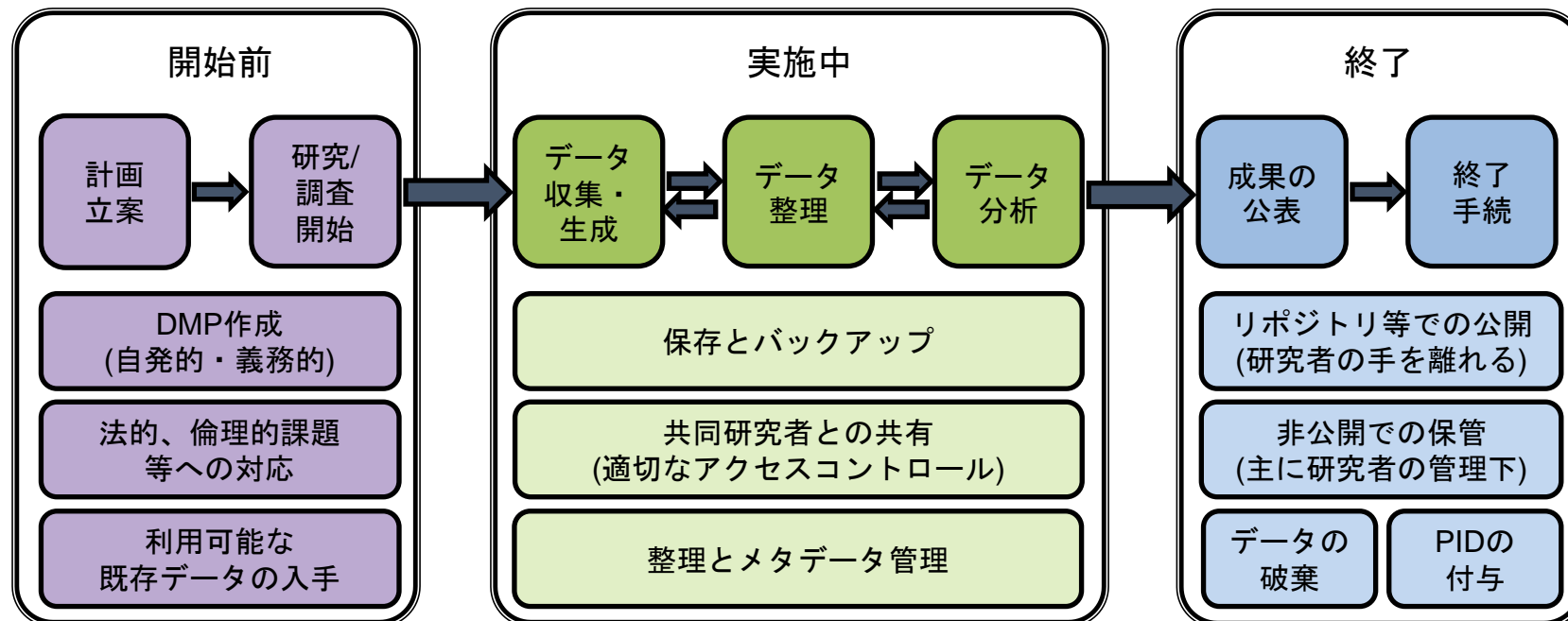
RDM Tutorials for ICT Staff  
- Introduction -

# 教材の目的

- 研究データマネジメント(Research Data Management, RDM)とは、研究を進める上で、「研究者が」「どんなデータを」「どのように扱うか」を取り決め、これを実践すること。
- RDMの主役は、研究者と研究データである。大学等研究機関は、情報基盤、図書館等の支援要員を通じ、この活動を支援する。
- この教材では、情報基盤スタッフに求められるRDM支援活動の概要、及びそのために必要な知識、技術について解説する。

# 研究データ管理、研究データとは？

- 研究データ管理(Research Data Management, RDM)とは、「研究の開始から終了までを通じ、どのような研究データを収集・生成するか、またこれらのデータをどのように解析、保存、共有、公開するか、等を定め、これを実践する」行為全体を指す。
- 「研究データ」がさす対象は、文脈により差異がある。公開・非公開であるか、デジタル・非デジタルであるか、といった区別がなされる場合がある。
- 本教材では、主にデジタル化された研究データの取り扱いについて解説する。



# 教材の概要

## **【研究前】**

研究費の申請や研究開始時に、データ管理計画(Data Management Plan, DMP)を作成する。  
DMPは研究中也実態に応じ適宜更新される必要がある。

→ 第1章 データ管理計画(DMP)の作成

## **【研究中】**

選定した情報基盤を活用し、研究を進める。情報基盤の整備状況は研究の進行に大きく影響する。

→ 第2章 研究データの保存

→ 第3章 研究データの収集・分析・整理

## **【研究後】**

これまで論文・書籍だけだった研究成果に、研究データを加えて公開する(この部分は図書館が協力、または主導する場合もある)。

→ 第4章 研究データの公開

# 教材の構成

- 本教材は、オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)が2020年に公開した「研究者の為の研究データマネージメント」を元に再構成、加筆した(すべての教材は <http://id.nii.ac.jp/1458/00000247/>)。
- 教材中、「**研究者に求められる行為**」と示された資料は、上記の教材をほぼそのまま利用している。RDM支援に際し、情報基盤スタッフに知っておいてほしい、研究者の立場・義務を説明している。
- 「**情報基盤スタッフの対応**」と示された資料が、新たに追加された教材である。「研究者に求められる行為」と対をなす形で、情報基盤スタッフが実施する支援、基盤整備に必要な知識、技術を説明している。

## より深く学ぶために

- 「研究者の為の研究データマネジメント」オリジナル教材  
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000247/>
- 教材「研究データ管理サービスの設計と実践」第2版  
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000556/>
- データ管理で研究者と協力するために：クックブック（日本語訳）  
<http://hdl.handle.net/2433/267606>
- 研究データ管理支援人材に求められる標準スキル  
<https://doi.org/10.20736/0002000219>

# 教材制作関係者(2021年度版)

## 教材作成・監修

元木正和(東北大学), 古川雅子(国立情報学研究所), 青木学聡(名古屋大学)

## レビュー協力

小林裕太(千葉大学), 関進(理化学研究所), 舩本現(理化学研究所),  
松平拓也(金沢大学), 西園由依(鹿児島大学)

## オリジナル教材制作 (教材「研究者のための研究データマネジメント」)

JPCOAR-研究データ作業部会

## 制作 (教材「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント」)

AXIES-RDM部会

# この文書について

「情報基盤スタッフ向けの研究データマネジメント - 概要と背景 -」

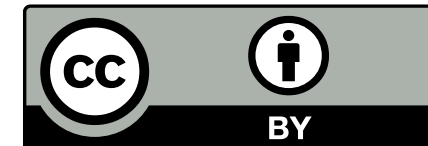
教材作成TFメンバー：元木正和、古川雅子、青木学聡(2022)  
JPCOAR-研究データ作業部会、AXIES-RDM部会の共同制作

"RDM Tutorials for ICT Staff - Introduction"

Member of Teaching Material Making TF: MOTOKI Masakazu, FURUKAWA Masako, AOKI Takaaki (2022)  
Co-Produced by JPCOAR-Research Data Working Group, AXIES-SIG-RDM

この文書はCC-BY (国際4.0)によりライセンスされています。

This document is licensed under CC-BY 4.0



文書の一部は「研究者のための研究データマネジメント」の内容を編集、再構成しています。  
(<http://id.nii.ac.jp/1458/00000247/>)